

療考会NEWS

2025年4月号 南部療育センター開設



福岡市
4ヶ所目となる
療育センター

南部療育センター開設に向けて

私たち療考会は、あゆみ学園(昭和48年開設)の老朽化・狭あい化をきっかけに、通園する方の声を取りまとめ、行政や市議会議員との意見交換や現地視察などの活動を経て、南部療育センターの新設要望書や提案書の提出といった働きかけを長年行ってきました。

そして、この地道な活動が実を結び、ついに2025年4月1日に南部療育センターが開設されました。

また、施設を利用するこどもたちや保護者のために、療考会からの提案内容が最大限に取り入れられた形の施設となりました。

今回の療考会ニュースでは、開設式典の様子や南部療育センターについて、ご紹介していきます。

福岡市立南部療育センター

開設記念式典に参加しました

令和7年3月31日（月）、福岡市立南部療育センターの開設記念式典が開催されました。

福岡市地域療育を考える会（療考会）も関係団体として招かれ、式典およびテープカットに参加いたしました。

南部療育センターは、市内4ヶ所目となる公立療育センターとして整備され、発達支援の相談件数増加に対応する新たな拠点施設です。施設内には、インクルーシブ遊具、温水プール、クールダウンスペースなどが設けられ、災害時には福祉避難所として72時間稼働可能な非常用発電設備も備えられています。

療考会としても、今後も行政との情報共有を続けてまいります。



福岡市立南部療育センター開設式典の様子



※本式典の様子は、高島宗一郎福岡市長の公式ブログにも掲載されています。

<https://ameblo.jp/so-takashima/entry-12892023668.html>

南部療育センターの事業概要

①相談部門 (相談・診療・リハビリテーション)



保護者の方からのご相談に医師や専門スタッフが
お応えします。
必要に応じて一人一人の
状況に合わせた療育・訓
練を行います。

②通園部門(あゆみ園)

運動発達や知的発達の遅れ
や、かたよりのある未就学
のお子さんが、親子または
単独で通園します。
遊びや集団での活動を通じ
て、より豊かな発達を目指
し、お子さんや保護者の方
への支援を行います。



③地域支援

地域の幼稚園、保育園や
児童発達支援事業所など
の訪問や、職員向けの研
修を開催するなど、地域
の障がい児支援を担って
います。



④障がい児等療育支援事業

【訪問療育】
来所が難しいご家庭を訪問し、相談・訓練・保育を
行います。

【外来療育】
個別療育・グループ療育・発達相談などを行います。

【施設支援】
幼稚園、保育園、施設などにスタッフが伺い職員の方
々のご相談にお応えします。

⑤障がい児相談支援事業



専任の相談支援専門員(相談支援
員)が障がいのあるお子さんとそ
の家族の困りごとの相談に応じま
す。
在宅利用に関する相談に応じ、各
種福祉サービスの提供に係わる援
助(計画相談等)、関係機関等と
の連絡・調整を行います。

⑥日中一時支援事業

保護者やご家族の病気、事故、
出産、休息、就労等の理由によ
って、ご家庭での介助が一時的
に困難となった障がいのあるお
子さまを対象に、日中、一時的
にお預かりします。

※利用には所定の手続き(受給者証の取
得、契約、利用契約)が必要となります。

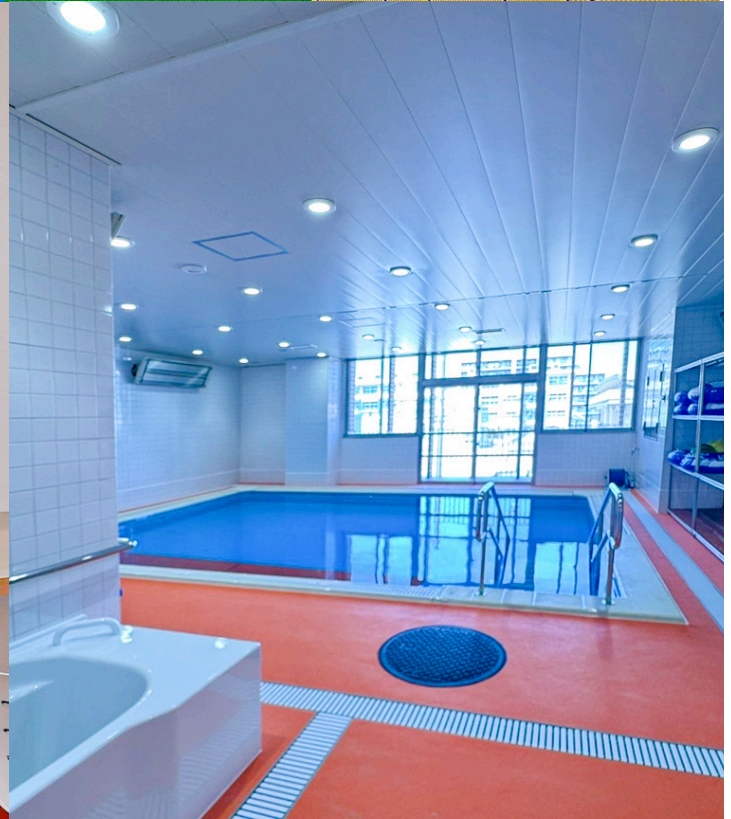
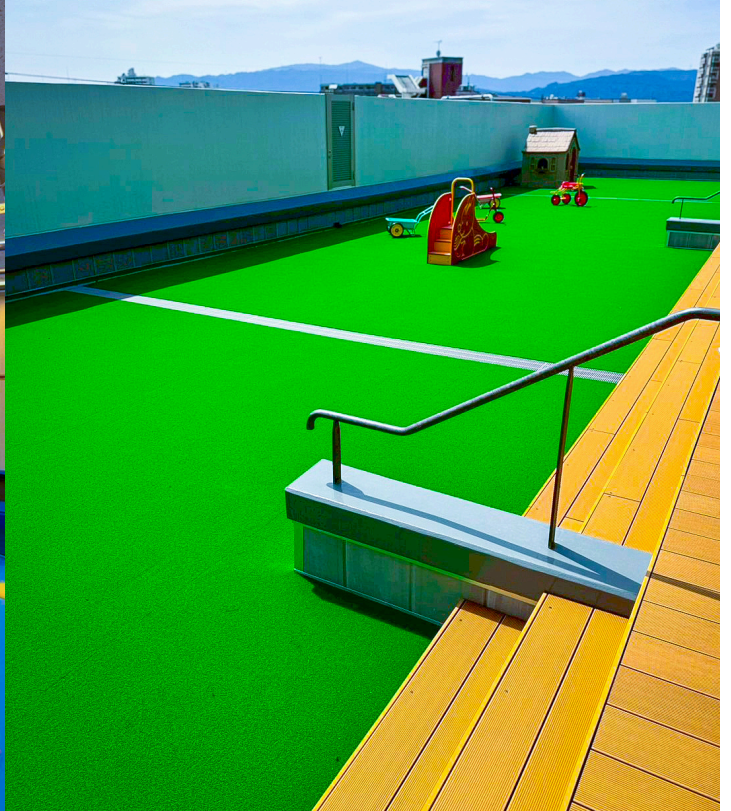


福岡市立南部療育センター施設の様子



療考会からの要望書の通り、保育室には2段式の親子で荷物を入れることのできるロッカーや特性によって手洗い時の体制が様々(抱っこ・座位保持椅子・立位など)なので、手洗い場の蛇口の高さを変えたり自動感知したりするものが設置されています。

福岡市立南部療育センター施設の様子



発達障害の相談が増えていることを受け、5つの個室相談室を設け、いつでも対応できる体制が整えられており、プール室には座位が安定していない子どもたちのためにユニバーサルベットやシャワーチェアも準備されています。また、園庭には体が動かないよう器具で固定して乗るブランコや車いすでも遊べる高めに設置した砂場なども設置されています。